

新たな才能を、丸の内から世界へ向けて発掘・発信するアート展 「アートアワードトーキョー 丸の内2012」開催

ゲスト審査員に世界で活躍する日本の新鋭アーティスト 加藤 泉氏を迎え
美大・芸大の卒業・修了制作に30作品を一堂に展示

4月28日(土)～5月27日(日)

アートアワードトーキョー 丸の内 2012 実行委員会は、4月28日(土)～5月27日(日)の期間、丸ビル・新丸ビルに隣接するパブリックスペース、行幸地下ギャラリーにおいて「アートアワードトーキョー 丸の内 2012」を開催します。

今年で6回目を迎える「アートアワードトーキョー 丸の内」(以下 a.a.t.m.)は、若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術のアワード展です。全国の主要な美術大学・大学院の卒業制作の中から選抜した、才能豊かな30作品を行幸地下ギャラリーに展示。初日の4月28日(土)には、世界で活躍する日本の新鋭アーティスト、加藤 泉氏をゲスト審査員に迎え、9名の審査員による公開審査を実施。グランプリ、準グランプリ、審査員賞など全16賞を決定します。

東京駅に直結し、丸ビルと新丸ビルの上に位置する全長220m の行幸地下ギャラリーは、丸の内ワーカーやショッピングに訪れる人々が一日に何万人も往来するパブリックスペースです。多数の人が作品に触れることで若いアーティストの可能性を大きく広げ、また誰でも気軽にアート鑑賞を楽しめる、アートとの新しい出会いの場を創出しています。

過去5回の a.a.t.m.で紹介したアーティストの数は、延べ216名に及び、そこから注目の新鋭作家が数多く羽ばたいています。第6回目となる今年は三菱地所賞を新設し、受賞者には丸の内での展覧会を開催する場を提供するなど、若手アーティストのキャリアアップを様々な形でサポートしていきます。

次代を担うアーティストたちの清々しく鋭敏な感性が一堂に会する丸の内へ、ぜひお越しください。



2011年 会場風景(行幸地下ギャラリー)



「アートアワードトーキョー 丸の内2011」グランプリ
作品名:「わたしの荒野」
小山 真徳/東京藝術大学大学院修了

「アートアワードトーキョー 丸の内2012」開催概要

開催日程：4月28日(土)～5月27日(日) 会期中無休
時 間：11:00～20:00
開催場所：行幸地下ギャラリー 東京都千代田区丸の内2-4-1(行幸通り地下)
入 場：無料
主 催：アートアワードトーキョー 丸の内2012 実行委員会
特別協賛：三菱地所株式会社
協 賛：shu uemura
後 援：在日フランス大使館
協 力：アッシュ・ペー・フランス株式会社、日仏会館
お問合せ：アートアワードトーキョー 丸の内 実行委員会事務局
URL: <http://www.artawardtokyo.jp> Mail: info2012@artawardtokyo.jp

■公開最終審査会・授賞式

開催日程：4月28日(土)
時 間：13:00～ 公開最終審査会(於:行幸地下ギャラリー)
審査員が会場で作品審査を行います。(一般見学可)
18:00～ 授賞式(於:丸ビル1階 丸の内カフェ ease)

内容・見所：若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術のアワード展

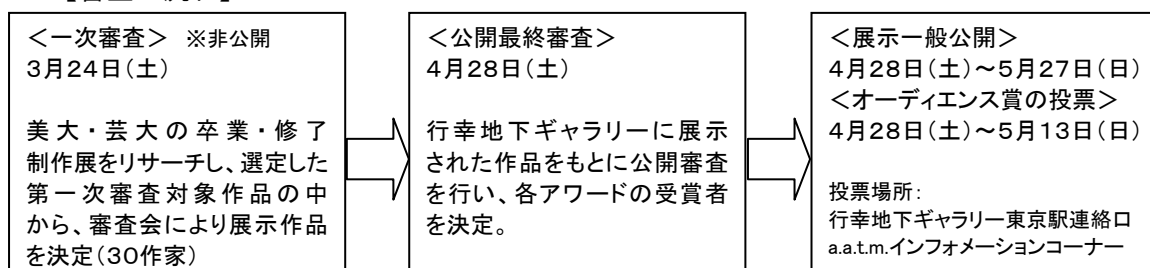
1)現代アート of 若い才能を発見できるショーケース

国内の美術大学・芸術大学の卒業制作の中から、アート界を牽引する9人の審査員による厳正な審査で選ばれた30作品が一堂に介します。

2)公開審査会の模様を一般公開

初日の4月28日(土)に行われる最終審査会は、行幸地下ギャラリーに展示された作品を審査員全員がひとつひとつ見て回り、アーティストに鋭い質問を投げかけていくスリリングな現場です。アーティストと審査員の真剣なやりとりを一般の方もご覧いただけます。

【審査の流れ】



3)現代美術界を牽引する豪華審査員。ゲスト審査員は実力派アーティスト、加藤 泉氏 a.a.t.m.の審査員は、いずれも現代美術界の第一線で活躍するプロフェッショナル。世界を見据えたレベルの高い審査が行われています。今年のゲスト審査員には、個性的な作風で世界的に知られる話題のアーティスト、加藤 泉氏をお招きします。

4)新たに「三菱地所賞」を設置。個性豊かな全賞

昨年のアッシュ・ペー・フランス賞、フランス大使館賞に続き、三菱地所賞を新たに創設。多彩な視点からの評価が各賞に反映されます。グランプリ、準グランプリを含む全16賞を選出します。

アワード各賞：

グランプリ	1名	賞金30万円
準グランプリ	1名	賞金20万円
審査員賞	9名	賞金5万円
【新設】三菱地所賞	1名	東京・丸の内にて作品展示をする機会が与えられます。
シュウ ウエムラ賞	1名	シュウ ウエムラは、—the art of beauty— すなわち、美とアートの融合を追求し続ける化粧品ブランドです。才能溢れる若手アーティストの育成に貢献していきたいと考え、第3回よりシュウ ウエムラ賞を設立しました。受賞者にはデザインコラボレーションの機会が与えられ国際デビューへの扉が開かれます。
アッシュ・ペー・フランス賞	1名	アッシュ・ペー・フランスが運営する H.P.FRANCE WINDOW GALLERY (丸ビル1階)にて個展を行う機会を得られます。
フランス大使館賞	1名	日仏会館(渋谷区恵比寿 3-9-25)エントランス・ホールにて個展を開催することができます。
オーディエンス賞	1名	観客の投票で決定します。※投票期間:4月28日(土)~5月13日(日)

◇三菱地所賞新設の狙い

三菱地所はこれまで特別協賛として本展を支援して参りましたが、更に若手アーティストに活躍の場を提供できるよう、本年から三菱地所賞を新設致しました。アーティストが作った素晴らしい作品を、より多くの方々に楽しんでいただけるような場を作り、新たな才能が丸の内から世界へ羽ばたくよう支援していきたいと考えております。

審査員：

ゲスト審査員	加藤 泉	アーティスト
審査員 (アイウエオ順)	天野 太郎	横浜美術館 主席学芸員
	植松 由佳	国立国際美術館 主任研究員
	後藤 繁雄	京都造形芸術大学 教授
	木幡 和枝	東京藝術大学先端芸術表現科 教授
	小山 登美夫	小山登美夫ギャラリー代表、明治大学国際日本学部 特任准教授
	佐藤 直樹	ASYL アートディレクター、多摩美術大学造形表現学部デザイン学科 准教授
	高橋 明也	三菱一号館美術館館長
	長谷川 祐子	東京都現代美術館チーフキュレーター、多摩美術大学 特任教授

◇ゲスト審査員:加藤 泉(アーティスト)

1969年生まれ。武蔵野美術大学油絵科卒業。

匿名的で「人類」の根源的な生命を思わせる男や女、子どもなどの人物、人の形を描く独特の絵画表現で世界的に知られる。2004年頃からペインティングと併行して木彫作品を本格的に手がけ、絵と我々の世界との境界線を越えるダイレクトな存在感を放っている。

撮影:佐藤祐介



主な展示

- 2006年 「リトルボーイ:爆発する日本のポップカルチャー」
ジャパンソサエティー・ギャラリー、ニューヨーク
- 2007年 「第52回ヴェネツィア・ビエンナーレ」 国際企画展招待、ヴェネチア、イタリア
- 2010年 「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」 国立国際美術館、大阪
- 2010-2011年 個展「日々に向う」 箱根彫刻の森美術館、神奈川
- 2011年 個展「はるかなる視線」 コムデギャルソン SIX、大阪

『無題』
2011年
キャンバスに油彩
h.1940 x w.1303 mm
撮影:渡邊郁弘



◇a.a.t.m.過去参加アーティストの主な活動状況(一例)

過去5回のa.a.t.m.参加アーティストの中からは、アート界で活躍する注目アーティストが多く誕生しています。a.a.t.m.からステップアップしていく彼らの今後にもご期待ください。

a.a.t.m.参加年	アーティスト名	出身大学(出展時)	近年の活動(2011年10月〜)と予定
2011年	小山 真徳 (グランプリ)	東京藝術大学大学院	2011 「油絵茶屋再現」浅草寺境内(東京)
	川島 崇志 (後藤繁雄賞)	東京工芸大学大学院	2011 international talent support ファイナリスト (イタリア)
	菅原 有生 (佐藤直樹賞)	武蔵野美術大学	2012.3 “Emerging Contemporary Artist of Japan 2012” 2/20 Gallery (ニューヨーク)
	村林 由貴	京都造形芸術大学大学院	妙心寺退蔵院方丈襖絵プロジェクト[襖絵64面を 約3年かけて制作中] (京都)
2010年	松島 俊介 (グランプリ)	情報科学芸術大学院大学	2012.2 恵比寿映像祭 (東京)
	松下 徹 (後藤繁雄賞)	東京藝術大学大学院	2012.3 現代美術の展望「VOCA 展 2012-新しい 平面の作家たち」 2012.4 上野の森美術館 (東京)
	八幡 亜樹	東京藝術大学大学院	2012.1-3 「Journey to the West 展 日印美術交流 の可能性」ニューデリー-Lalit Kala Akademi Gallery (インド)
	佐藤 翠 (小山登美夫賞)	東京造形大学大学院	2012.1-3 個展「プロジェクト N 48 佐藤翠」東京 オペラシティアートギャラリー (東京)
2009年	wah document (グランプリ)	東京藝術大学大学院	2012.7-12 「水と土の芸術祭 2012」(新潟)
	宮永 亮 (飯田志保子賞)	京都市立芸術大学大学院	2011 個展「成層圏 vo.5 宮永亮」αM (東京)
2008年	高木 久美	東京藝術大学大学院	2012.2 個展「トータルエンクロージャー:徘徊 少女と浮遊の園」十和田市現代美術館(青森)
	間瀬 朋成	東京藝術大学	2011 アートラインかしわ 2011 (千葉)
	鈴木 光 (飯田志保子賞)	武蔵野美術大学	2011 第 21 回映画祭 TAMA NEW WAVE “ある 視点部門”(東京)
2007年	荒神 明香 (グランプリ)	東京藝術大学	2012 「Breathing Atolls:Japan-Maldives Contempora Art Exhibition」モルディブ国立美術館(モルディブ) 2011 「建築、アートがつくりだす新しい環境」東京 都現代美術館(東京)
	大庭 大介	東京藝術大学大学院	2011 個展「The light field」大和ジャパンハウス (ロンドン)
	Hyon Gyon	京都市立芸術大学大学院	2012 「Phantom of Asia」アジアン・アート・ ミュージアム(サンフランシスコ)
	薄久保 香	東京藝術大学大学院	2011 横浜トリエンナーレ2011(横浜)

※出身大学は、受賞時のものであり、一部最終学歴とは異なる場合がございます。

◇a.a.t.m.過去参加アーティストの参加後の作品(一部)



wah document
『wah 47 家を持ち上げる』
©ORERA+wah! Document



荒神 明香
『reflecttwo』
2008
「ライフがフォームになるとき」
展示風景 サンパウロ近代美術館(ブラジル)
Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE



大庭 大介
『THE BATTLE STAGE』
2011
180×180cm
acrylic on cotton
Photo by Keizo Kioku



薄久保 香
『輝くもの天より墜ち』
Brightness falls from the air
2011
oil on panel
130.0 x 130.0 cm

◇a.a.t.m.受賞作家からのメッセージ

■小山 真徳(a.a.t.m.2011グランプリ)

全国の美大の猛者が集まる展覧会ということで奮起しました。多数の審査員や観客の方々に、私自身が作品を作っているだけでは気がつかない事を投げかけていただき、大変貴重な経験でした。出会いを楽しんで下さい。

■今井 悠子(a.a.t.m.2011準グランプリ&フランス大使館賞)

a.a.t.m.で準グランプリ賞とフランス大使館賞を受賞し、私の世界は変わりました。海外に飛び出せる可能性を感じ、同時に知るべき世界が無限に広がっていることを感じています。どんなアーティストになりたいの？問われたこの一言に、どう応えて行けるのか。自分を信じ、作品を生み出していけたら幸せと思っています。

■山本 理恵子(a.a.t.m.2011高橋明也賞)

a.a.t.m.では、様々な媒体の作品が一様にショーケースに展示されます。比較する中で、同時代性と個々の表現形態が届けることのできる自由について考えました。審査員の方や、各方面からの同世代の作家さんと作品についてお話できる経験は貴重です。そこで知り合えた方々が、のちに個展を見にきて下さって嬉しかったです。

<この件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

三菱地所ビルマネジメント株式会社 丸の内PR事務局 (平日9:30~18:00)

TEL: 03-3403-0292 / FAX: 03-3403-0359

E-mail: marunouchi@ozma.co.jp

<この件に関する一般の方のお問い合わせ先>

丸の内コールセンター TEL 03-5218-5100(11:00~21:00)

※但し、日曜・祝日は20:00まで(連休の場合は最終日のみ20:00まで)